

# 商業簿記

【第13回】

テーマ7

有形固定資産の会計処理②

## テーマ7：有形固定資産②

### 1. 有形固定資産の期中の仕訳を書き出してみよう(P122～) その2

論 点	固定資産の建設及び改良と修繕 (P122～P123)			
仕訳例の金額	① 建設の手付金を払った場合 倉庫新築を5,000で請け負わせ、 代金の一部1,500を現金で支払った。 (P122)		② 改良と修繕を支払った場合 固定資産に関して支出30,000を現金 で支払った。うち、耐用年数延長に 関する分は20,000、機能維持に関す る分は10,000である。償却率20%と する。(P123)	
1.期中の仕訳 支払ったとき (P122・P123)	借方	貸方	借方	貸方
2.期末の決算整理 仕訳 (減価償却)				

期首から償却すると考えてください。

### 2. 減価償却の方法について検討してみよう(P109～ P114)

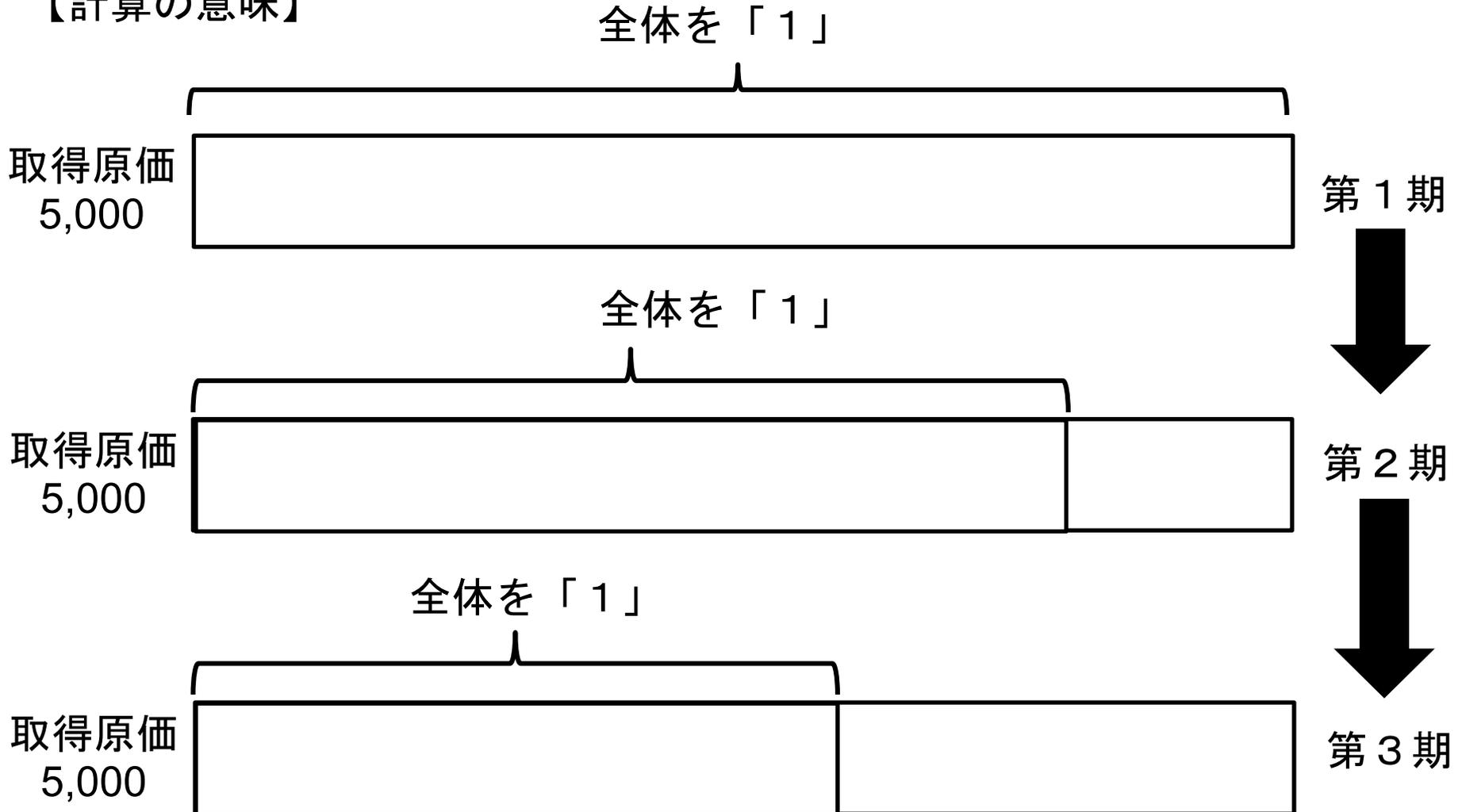
定額法 (P109)	定率法(P110)	生産高比例法 (P114)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭義の定率法 (財務会計)</li> <li>・ 200%定率法 (税務会計)</li> <li>・ 250%定率法 (税務会計)</li> </ul>	

### 3. 減価償却の方法の「定率法」について(P110～ P111)

200%定率法について

計算方法：

【計算の意味】



### 3. 有形固定資産の圧縮記帳について比較してみよう(P127～P129)

論 点	固定資産の「直接減額方式」による圧縮記帳 (P 127 ～P129)			
仕訳例の金額 (間接法による)	①国庫補助金30万円を受領した。 ②上記に、自己資金60万円を加えて備品90万円購入し、圧縮記帳を行う ③決算整理で減価償却を行う。定額法、耐用年数3年、残存価額0			
パターン	その1：圧縮記帳を行わない場合		その3：圧縮記帳を行う場合	
	借方	貸方	借方	貸方
①補助金 受領時の仕訳 (P 127)				
②備品取得と 圧縮記帳の仕訳				
③決算整理仕訳 (減価償却)				

#### <損益計算書の利益と税金の比較>

圧縮記帳なしの場合の損益計算書	
【費用】 減価償却	【収益】 売上300万円
税引前利益	国庫補助金30万円

税率30%

上記に対する税金 (税引前利益 ×30%) )

圧縮記帳ありの場合の損益計算書	
【費用】 減価償却	【収益】 売上300万円
<b>圧縮損</b>	
税引前利益	国庫補助金30万円

上記に対する税金 (税引前利益 ×30%) )

# 「有形固定資産」の論点について 自分なりにまとめてみよう！



# 熊本校 Aさん



ゴール(合格)について、何か具体的に文

2

学習で困ったとき、先生や仲間に相談

学習していて、心配や不安になることは

1

試験の出題傾向や出題パターン、科目

0

学習したことについて、それをあとで思

ノートにまとめるとき、論点同士の関連性、

ノートを取るとき、重要な点や要点を書き

文章を読んでいて、意味のわからない部

学習計画(進め方)

について、考えたり、

学習時間を計画し、有効に使えています

睡眠時間は十分に取っていますか。

テキストについて、章を読む前に全体

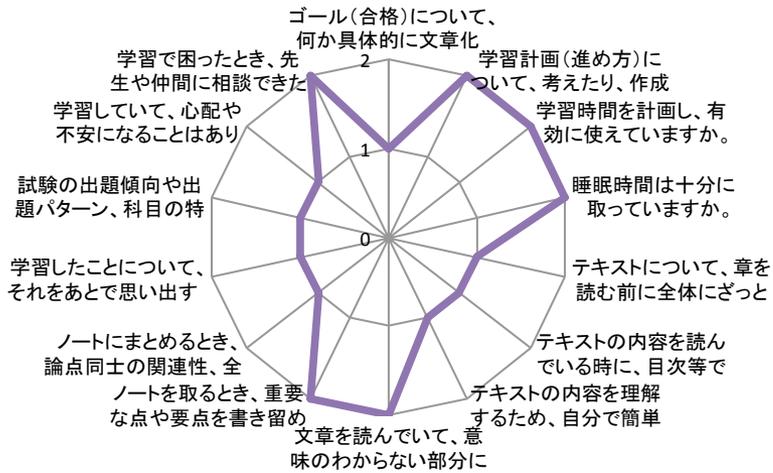
テキストの内容を読んでいる時に、目次

テキストの内容を理解するため、自分で

— Aさん

冊子5ページ

## Bさん



**模試36点**  
**商会13点 工原23点**



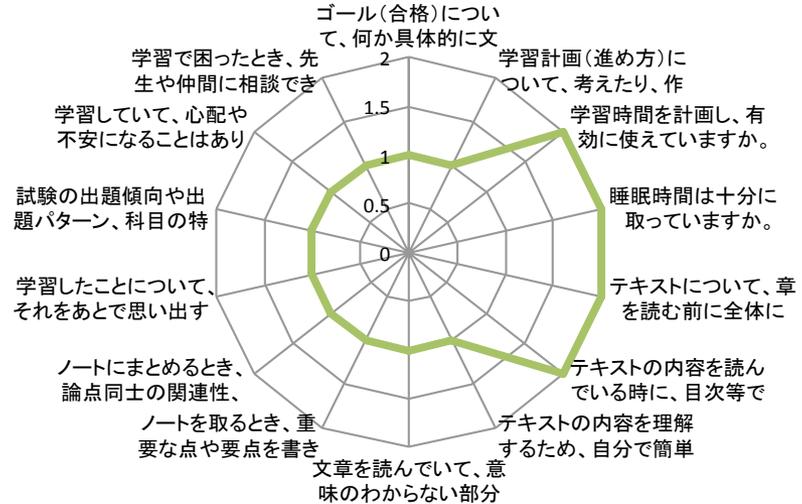
— B

成果の出ている人とそうでない人との間で

形に大きな差があることが分かった！



## Dさん



— D

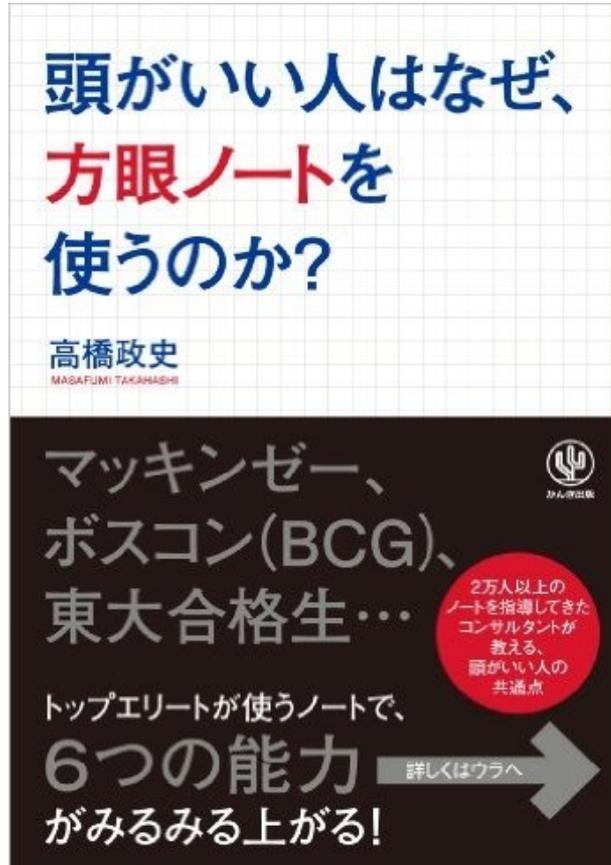
**模試19点**  
**商会4点 工原15点**

# Aさん



# 『頭がいい人はなぜ、方眼ノートを使うのか？』

～高橋政史著



もし、あなたが勉強が苦手  
だとしたら、それはあなた  
の担任の先生が「ノートの  
取り方」を教えてくれなか  
ったからです。

3. 減価償却の方法の「定率法」について(P110～ P111)

計算方法：  
減価償却費 = (取得原価 - 期首減価償却累計額) × 償却率

200%定率法

耐用年数5年

$1/5 \text{年} \times 200\%$   
= 0.4 (償却率)

【計算の意味】



<損益計算書の利益と税金の比較>

圧縮記帳ありの場合の損益計算書

60万円  
÷3年

【費用】 減価償却 20万円	【収益】 売上300万円
圧縮損 30万円	
税引前利益 280万円	国庫補助金30万円

(上記に対する税金: 税引前利益 280万円 × 30% = 84万円)

国庫補助金30万円 × 0.3 = 9万円  
この分、圧縮記帳なしの方が税金が多い

差額6万円は  
どこから来た?

減価償却費の差額10万円 × 0.3 = 3万円  
この分、圧縮記帳なしの方が税金が少ない



ドリル学習で「問題の解き方」を覚えるのではなく、「なぜこの計算なのか？」

「意味は何か？」と  
自分なりに考える！